

第25回 福島大学*行政政策学類*比較文化講座セミナー

「飯舘村・酪農家の叫び in Australia」

ゲストスピーカー： 長谷川 健一さん



※ 福島県飯舘村出身の酪農家。福島県酪農業協同組合理事、飯舘村前田地区区長。東京電力福島第一原発事故による高濃度の放射線汚染により、その全域が「計画的避難区域」に指定された飯舘村で、住民が避難し、人がいなくなった村の見回りを、長谷川さんは今も続けています。

原発事故発生後に購入したビデオカメラで、村で起きた悲劇や現実を克明に記録し、全国各地で自らの体験談を語っています。2013年3月には、

オーストラリアの平和団体の招きで、豪州各地で公演活動を行いました。著書に、『原発に「ふるさと」を奪われて～福島県飯舘村・酪農家の叫び』（宝島社 2012年）

このセミナーでは、震災からこれまでの飯舘村、そして、豪州での講演について、長谷川さんの体験談をお話ししていただきます。そして、長谷川さんに同行したNGOピースボートの共同代表で核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）の共同代表もつとめる川崎哲さんからコメントしていただきます。

日時： 2013年11月14日(木) 14:40～16:10
福島大学*M講義棟3階*AV教室

- ※ 行政政策学類*比較文化講座では「グローバル（グローバル+ローカル）時代」における、地域住民の生活や文化のあり方について、知見を広め一緒に考えるための課外授業を、公開セミナーとして開催します。
- ※ 質疑応答の時間を大切にしたいセミナー形式ですので、皆さまどうぞご参加ください。入場は無料です。
- ※ このセミナーは「行政政策学類英語特修プログラム」の「国際交流研修」に対応しています。

主 催： 福島大学行政政策学類 比較文化講座

問合せ先： 村上 雄一（murakami@ads.fukushima-u.ac.jp）
（TEL&FAX: 024-548-8298）